



平成16年11月29日

各位

会社名 ゼネラルパッカー株式会社
代表者名 代表取締役社長 原 淳
(コード番号: 6267 ・ 登録銘柄)
問い合わせ先 専務取締役 池 澤 晃
管理部長
電話番号 0568(23)3111(代表)

平成17年7月期中間(非連結)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成16年9月7日付当社「平成17年7月期決算短信(非連結)」の発表時に公表いたしました平成17年7月期中間期(平成16年8月1日~平成17年1月31日)の業績予想を下記の通り修正いたします。

記

1. 平成17年7月期中間業績予想の修正(平成16年8月1日~平成17年1月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A) (平成16年9月7日発表)	2,200	208	123
今回修正予想(B)	1,400	0	0
増減額(B-A)	800	208	123
増減率(%)	36.4	-	-
(ご参考) 前期実績(平成16年1月中間期)	2,033	203	122

2. 修正理由

包装機械業界においては包装機械の需要回復の兆しは一部に見られましたが、全体としては依然として厳しい環境が続いております。このような環境のなかで、当社は営業体制の強化に取り組み、受注の確保に努めてまいりました。

しかしながら、中間期に関しましては、客先業界からの引き合い動向により、主力の給袋自動包装機の販売台数増加を見込んで増収を予想していましたが、中間期に売上計上が可能と見込んでいた案件の設備投資時期が下期にずれ込んだために、約550百万円の計画ずれが発生しました。また、営業体制の再構築による担当地域変更に伴う受注への一時的な影響が発生したとともに、更新

需要及び客先新企画需要が今年度の自然災害等の影響もあり延期が発生したため、合わせて約 250 百万円の見込み違いが発生しました。これらの要因により、中間期の売上計上分の受注が計画通りに伸展せず、期初の予想と大幅な差異が発生する見通しとなりました。

売上高に関しましては、第 1 四半期に売上計上が可能な案件の受注が低迷(第 1 四半期受注高は下期以降売上予定分を含めるとほぼ計画通り)したことから、第 1 四半期で計画を下回るとともに、第 2 四半期に売上を予定していた受注見込み案件が下期以降へずれ込んでいること等により、当中間期での売上高は期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の売上高予想を 1,400 百万円に修正いたします。

また、利益面に関しましては、コストダウンと販売費及び一般管理費の抑制等に努めておりますが、売上高減少による影響が大きく、期初の予想を大幅に下回る見通しとなりました。このため、当中間期の経常利益予想を 0 百万円、中間純利益予想を 0 百万円に修正いたします。

なお、当通期に関しましては、第 1 四半期の受注高が前期を上回りほぼ計画通りに推移しているとともに、客先の設備投資時期のずれ込みの影響と期初計画外の新規見込み案件も含めて、下期売上高に貢献が可能な受注見込み案件が十分にあることから、中間期の修正分を回復することは可能であると予想しております。

このため、上記の通り中間期の業績予想を修正いたしますが、通期の業績予想につきましては、平成 16 年 9 月 7 日付「平成 17 年 7 月期決算短信(非連結)」に記載の予想と変更はありません。

<ご参考>平成 17 年 7 月期の業績予想(平成 16 年 8 月 1 日～平成 17 年 7 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
予 想 (平成 16 年 9 月 7 日発表)	4,300	430	254
前 期 実 績 (平成 16 年 7 月期)	3,983	412	249

(注)上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上